

2022年3月10日

「Japan Financial Innovation Award 2022」で「金融機関賞」を受賞

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、今般、株式会社FINOLAB（代表取締役：伊藤 千恵、以下「FINOLAB」）と一般社団法人金融革新同友会 FINOVATORS（代表理事：増島 雅和）が主催する「Japan Financial Innovation Award 2022」にて、「金融機関賞」を受賞しました。

今年で3回目の開催となる本表彰制度は、金融分野における情報通信技術を活用した先進的な取り組みを促進し、業界内でのベストプラクティスの共有に加え、企業グループや業種の垣根を超えたオープンイノベーションの拡大を目的に設立されたものです。

三井住友海上は、今後もさまざまなデジタル技術を組み合わせ、お客さまニーズに応える商品・サービスの開発を進めていきます。

1. 「Japan Financial Innovation Award 2022」について

本表彰制度は、金融イノベーションの取り組みを表彰する制度で、「スタートアップ」、「金融機関」、「コラボレーション」の3つのカテゴリから成り立っています。

2021年にプレスリリースされた金融関連のイノベーション案件約500件の中から、先進性、成長性、金融業界変革の可能性の観点で、全14社、金融機関賞5社が表彰されました。

※詳細は、FINOLABのWebサイトをご参照ください。

https://finolab.co.jp/pdf/news/20220224/20220224_jp.pdf



2. 受賞概要

(1) 受賞案件

AIドローンとチャットボットを活用した「水災デジタル調査」の導入

https://www.ms-ins.com/news/fy2021/pdf/0712_1.pdf

(2) 受賞内容

金融機関賞（金融機関賞の受賞は、損害保険会社で初めてとなります。）

グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社も導入している、大規模水災時のAIドローンとチャットボットを活用した「水災デジタル調査」が、先進性・成長性・金融業界変革の可能性の観点で評価されました。

(ご参考)

<FINOLABコミュニティの概要>

FINOLAB（The Fintech Center of Tokyo, FINOLAB）は、世界有数の国際金融センターである東京・大手町エリアを拠点とするFinTechのエコシステムの形成および新規ビジネス創出を目的とした会員制のコミュニティ&スペースです。2016年2月に開設し、2022年2月現在、国内外の金融関連スタートアップ47社、業界団体2団体、事業法人23社が参画しています。

Webサイト：<https://finolab.tokyo.jp/>

YouTube：<https://www.youtube.com/finolabchannel>

以上